

昭和五十一年政令第二百九十五号

特定商取引に関する法律施行令

内閣は、訪問販売等に関する法律（昭和五十一年法律第五十七号）第二条第三項、第六条第一項前段及び同項第二号、第十条第三項第二号、第十一条第一項、第十三条並びに第十七条第一項の規定に基づき、この政令を制定する。

（特定顧客の誘引方法）

第一条 特定商取引に関する法律（以下「法」という。）第二条第一項第二号の政令で定める方法は、次のいずれかに該当する方法とする。

- 一 電話、郵便、民間事業者による信書の送達に関する法律（平成十四年法律第九十九号）第二条第六項に規定する一般信書便事業者若しくは同条第九項に規定する特定信書便事業者による同条第二項に規定する信書便（以下「信書便」という。）、電報、ファクシミリ装置を用いて送信する方法若しくは法第十二条の三第一項に規定する電磁的方法（以下「電磁的方法」という。）により、若しくはビラ若しくはパンフレットを配布し若しくは拡声器で住居の外から呼び掛けることにより、又は住居を訪問して、当該売買契約又は役務提供契約の締結について勧誘をするためのものであることを告げず、営業所その他特定の場所への来訪を要請すること。
- 二 電話、郵便、信書便、電報、ファクシミリ装置を用いて送信する方法若しくは電磁的方法により、又は住居を訪問して、他の者に比して著しく有利な条件で当該売買契約又は役務提供契約を締結することができる旨を告げ、営業所その他特定の場所への来訪を要請すること（当該要請の日前に当該販売又は役務の提供の事業に関して取引のあつた者に対して要請する場合を除く。）。

（電話をかける方法）

第二条 法第二條第三項の政令で定める方法は、次のいずれかに該当する方法とする。

- 一 電話、郵便、信書便、電報、ファクシミリ装置を用いて送信する方法若しくは電磁的方法により、又はビラ若しくはパンフレットを配布して、当該売買契約又は役務提供契約の締結について勧誘をするためのものであることを告げず、電話をかけることを要請すること。
- 二 電話、郵便、信書便、電報、ファクシミリ装置を用いて送信する方法又は電磁的方法により、他の者に比して著しく有利な条件で当該売買契約又は役務提供契約を締結することができる旨を告げ、電話をかけることを要請すること（当該要請の日前に当該販売又は役務の提供の事業に関して取引のあつた者に対して要請する場合を除く。）。

（法第二條第四項第一号の政令で定める権利）

第三条 法第二條第四項第一号の政令で定める権利は、別表第一に掲げる権利とする。

（勧誘目的を告げない誘引方法）

第三条の二 法第六條第四項、第三十四條第四項及び第五十二條第三項の政令で定める方法は、電話、郵便、信書便、電報、ファクシミリ装置を用いて送信する方法若しくは電磁的方法により、若しくはビラ若しくはパンフレットを配布し若しくは拡声器で住居の外から呼び掛けることにより、又は住居を訪問して、営業所その他特定の場所への来訪を要請する方法とする。

（法第八條第二項の政令で定める使用人）

第三条の三 法第八條第二項の政令で定める使用人は、使用人のうち、次に掲げる者とする。

- 一 営業所又は事務所の業務を統括する者その他これに準ずる者として主務省令で定める者
- 二 法第八條第一項前段、第十五條第一項前段、第二十三條第一項前段、第三十九條第一項前段、第二項前段若しくは第三項前段、第四十七條第一項前段、第五十七條第一項前段又は第五十八條の十三第一項前段の規定により停止を命ぜられた業務を統括する者その他これに準ずる者として主務省令で定める者（前号に掲げる者を除く。）

（法第八條第二項の政令で定める法人）

第三条の四 法第八條第二項の政令で定める法人は、販売業者若しくは役務提供事業者又はその役員（同条第一項前段、法第十五條第一項前段又は第二十三條第一項前段の規定による命令の日前一年以内において役員であつた者を含む。）若しくはその使用人（前条に規定する使用人をいい、

法第八條第一項前段、第十五條第一項前段又は第二十三條第一項前段の規定による命令の日前一年以内において使用人であつた者を含む。）が他の法人の財務及び営業又は事業の方針の決定に対して重要な影響を与えることができる場合における当該他の法人として主務省令で定めるものをいう。

（情報通信の技術を利用する方法）

第四条 販売業者又は役務提供事業者は、法第十三條第二項の規定により同項に規定する事項を提供しようとするときは、主務省令で定めるところにより、あらかじめ、当該申込みをした者に対し、その用いる同項前段に規定する方法の種類及び内容を示し、書面又は同項前段に規定する方法による承諾を得なければならない。

2 前項の規定による承諾を得た販売業者又は役務提供事業者は、当該申込みをした者から書面又は法第十三條第二項前段に規定する方法により同項前段に規定する事項の提供を受けない旨の申出があつたときは、当該申込みをした者に対し、同項に規定する事項の提供を同項前段に規定する方法によつてしてはならない。ただし、当該申込みをした者が再び前項の規定による承諾をした場合は、この限りでない。

（他の法律の規定によつて購入者等の利益を保護することができる認められる販売又は役務の提供）

第五条 法第二十六條第一項第八号ニの政令で定める販売又は役務の提供は、別表第二に掲げる販売又は役務の提供とする。

（法第二十六條第一項第八号の規定による法の規定の適用除外に係る経過措置）

第五条の二 販売業者又は役務提供事業者が法第二十六條第一項第八号イ、ロ若しくはハ又はこの政令別表第二各号に規定する者（以下この条において「許可事業者等」という。）となる前に締結した契約、許可事業者等となる前に受けた申込み又は許可事業者等となつた後にその申込みにより締結した契約に係る販売又は役務の提供については、同項第八号の規定にかかわらず、法第二章第二節から第四節までの規定（これらの規定に係る罰則を含む。）の適用があるものとする。

（契約の申込みの撤回等ができない役務の提供等）

第六条 法第二十六條第三項の政令で定める役務の提供は、次に掲げる役務の提供であつて、役務提供事業者が営業所等（法第二條第一項第一号に規定する営業所等をいう。以下この条及び第六條の五第四号において同じ。）以外の場所において呼び止めて営業所等に行方させた者から役務提供契約の申込みを受け、又はその者と役務提供契約を締結して行うものとする。

- 一 海上運送法（昭和二十四年法律第八十七号）第十九條の六の二又は第二十条第二項に規定する事業として行う役務の提供
- 二 飲食店において飲食をさせること。
- 三 あん摩、マッサージ又は指圧を行うこと。
- 四 カラオケボックスにおいてその施設又は設備を使用させること。

第六条の二 法第二十六條第四項第一号の政令で定める商品は、自動車（二輪のものを除く。以下この条において同じ。）とし、同号の政令で定める役務は、自動車の貸与（当該貸与を受ける者が道路運送法（昭和二十六年法律第八十三号）第八十條第一項ただし書の自家用自動車の使用人として当該自動車を使用する場合に限る。）とする。

第六条の三 法第二十六條第四項第二号の政令で定める役務の提供は、次に掲げる役務の提供とする。

- 一 電気事業法（昭和三十一年法律第七十号）第二条第一項第八号イ又はロに規定する役務の提供
- 二 ガス事業法（昭和二十九年法律第五十一号）第二条第五項に規定する役務の提供（同項に規定する最終保障供給に係るものに限る。）
- 三 熱供給事業法（昭和四十七年法律第八十八号）第二条第二項に規定する役務の提供
- 四 葬式のための祭壇の貸与その他の便益の提供

第六条の四 法第二十六條第五項第一号の政令で定める商品は、別表第三に掲げる商品とする。

（申込みの撤回等ができない売買契約等に係る商品の代金等の金額）
第七條 法第二十六條第五項第三号の政令で定める金額は、三千円とする。
（適用除外される訪問販売の取引の態様）

第八條 法第二十六條第六項第二号の政令で定める取引の態様は、次のいずれかに該当する取引の態様とする。
一 現に店舗において販売を行つて居る販売業者（以下「店舗販売業者」という。）又は現に店舗において役務の提供を行つて居る役務提供事業者（以下「店舗役務提供事業者」という。）が定期的に住居を巡回訪問し、商品若しくは特定権利の売買契約の申込み若しくは売買契約の締結の勧誘又は役務提供契約の申込み若しくは役務提供契約の締結の勧誘を行わず、単にその申込みを受け、又は請求を受けてこれを締結して行つたもの（以下「訪問販売」という。）

二 店舗販売業者又は店舗役務提供事業者が顧客（当該訪問の日前一年間に、当該販売又は役務の提供の事業に關して、取引（当該取引について法第四條、第五條若しくは第九條第六項の規定に違反する行為又は法第七條第一項第一号若しくは第四号に掲げる行為がなかつたもの及び当該取引のあつた日以後において法第九條の第二項各号に該当する契約を締結することを目的とし、法第三條の第二項若しくは第六條第一項から第三項までの規定に違反する行為又は法第七條第一項第二号若しくは第三号に掲げる行為があつたものを除く。）のあつた者に限る。）に對してその住居を訪問して行つたもの（以下「訪問販売」という。）

三 店舗販売業者以外の販売業者又は店舗役務提供事業者以外の役務提供事業者が継続的取引關係にある顧客（当該訪問の日前一年間に、当該販売又は役務の提供の事業に關して、二以上の訪問につき取引（当該取引について法第四條、第五條若しくは第九條第六項の規定に違反する行為又は法第七條第一項第一号若しくは第四号に掲げる行為がなかつたもの及び当該取引のあつた日以後において法第九條の第二項各号に該当する契約を締結することを目的とし、法第三條の第二項若しくは第六條第一項から第三項までの規定に違反する行為又は法第七條第一項第二号若しくは第三号に掲げる行為があつたものを除く。）のあつた者に限る。）に對してその住居を訪問して行つたもの（以下「訪問販売」という。）

四 販売業者又は役務提供事業者が他人の事務所その他の事業所（以下単に「事業所」という。）に所屬する者に対してその事業所において行つたもの（以下「訪問販売」という。）

（電話をかけることを請求させる行為）
第九條 法第二十六條第七項第一号の政令で定める行為は、電話、郵便、信書便、電報、ファクシミリ装置を用いて送信する方法若しくは電磁的方法により、又はビラ若しくはパンフレットを配布して、当該電話勧誘販売に係る売買契約又は役務提供契約の締結について勧誘をするためのものであることを告げず、電話をかけることを請求させる行為とする。
（適用除外される電話勧誘販売の取引の態様）

第十條 法第二十六條第七項第二号の政令で定める取引の態様は、販売業者又は役務提供事業者が継続的取引關係にある顧客（当該勧誘の日前一年間に、当該販売又は役務の提供の事業に關して、二以上の取引（当該取引について法第十八條から第二十二條まで若しくは第二十四條第六項の規定に違反する行為又は法第二十二條第一項第一号若しくは第四号に掲げる行為がなかつたもの及び当該取引のあつた日以後において法第二十四條の第二項各号に該当する契約を締結することを目的とし、法第十七條若しくは第二十一條の規定に違反する行為又は法第二十二條第一項第二号若しくは第三号に掲げる行為があつたものを除く。）のあつた者に限る。）に對して電話をかけ、その電話において行つたもの（以下「電話販売」という。）

（適用除外される電話勧誘販売の取引の態様）
第十條 法第二十六條第七項第二号の政令で定める取引の態様は、販売業者又は役務提供事業者が継続的取引關係にある顧客（当該勧誘の日前一年間に、当該販売又は役務の提供の事業に關して、二以上の取引（当該取引について法第十八條から第二十二條まで若しくは第二十四條第六項の規定に違反する行為又は法第二十二條第一項第一号若しくは第四号に掲げる行為がなかつたもの及び当該取引のあつた日以後において法第二十四條の第二項各号に該当する契約を締結することを目的とし、法第十七條若しくは第二十一條の規定に違反する行為又は法第二十二條第一項第二号若しくは第三号に掲げる行為があつたものを除く。）のあつた者に限る。）に對して電話をかけ、その電話において行つたもの（以下「電話販売」という。）

（適用除外される電話勧誘販売の取引の態様）
第十條 法第二十六條第七項第二号の政令で定める取引の態様は、販売業者又は役務提供事業者が継続的取引關係にある顧客（当該勧誘の日前一年間に、当該販売又は役務の提供の事業に關して、二以上の取引（当該取引について法第十八條から第二十二條まで若しくは第二十四條第六項の規定に違反する行為又は法第二十二條第一項第一号若しくは第四号に掲げる行為がなかつたもの及び当該取引のあつた日以後において法第二十四條の第二項各号に該当する契約を締結することを目的とし、法第十七條若しくは第二十一條の規定に違反する行為又は法第二十二條第一項第二号若しくは第三号に掲げる行為があつたものを除く。）のあつた者に限る。）に對して電話をかけ、その電話において行つたもの（以下「電話販売」という。）

（適用除外される電話勧誘販売の取引の態様）
第十條 法第二十六條第七項第二号の政令で定める取引の態様は、販売業者又は役務提供事業者が継続的取引關係にある顧客（当該勧誘の日前一年間に、当該販売又は役務の提供の事業に關して、二以上の取引（当該取引について法第十八條から第二十二條まで若しくは第二十四條第六項の規定に違反する行為又は法第二十二條第一項第一号若しくは第四号に掲げる行為がなかつたもの及び当該取引のあつた日以後において法第二十四條の第二項各号に該当する契約を締結することを目的とし、法第十七條若しくは第二十一條の規定に違反する行為又は法第二十二條第一項第二号若しくは第三号に掲げる行為があつたものを除く。）のあつた者に限る。）に對して電話をかけ、その電話において行つたもの（以下「電話販売」という。）

提供契約の申込みを郵便等により受け、若しくは当該役務提供契約を郵便等により締結して行つたもの（以下「郵便販売」という。）

（法第三十九條第四項の政令で定める法人）
第十條の二 第三條の四の規定は、法第三十九條第四項の政令で定める法人について準用する。この場合において、第三條の四中「販売業者若しくは役務提供事業者」とあるのは「統括者、勧誘者若しくは一般連鎖販売業者」と、同條第一項前段、第十五條第一項前段又は第二十三條第一項前段」とあるのは「法第三十九條第一項前段、第二項前段又は第三項前段」と読み替へるものとする。

（商品販売契約の解除を行うことができないとき）
第十條の三 法第四十條の二第二項第四号の政令で定めるときは、連鎖販売加入者の責めに帰すべき事由により、当該商品の全部又は一部を滅失し、又は損したときとする。
（特定継続的役務提供の期間及び金額）
第十一條 法第四十一條第一項第一号の政令で定める期間は、別表第四の第一欄に掲げる特定継続的役務ごとに同表の第二欄に掲げる期間とする。
2 法第四十一條第一項第一号の政令で定める金額は、五万円とする。

（特定継続的役務）
第十二條 法第四十一條第二項の特定継続的役務は、別表第四の第一欄に掲げる役務とする。
第十三條 法第四十五條第一項の政令で定める金額は、五万円とする。
第十四條 法第四十七條第二項の政令で定める法人

第十五條 法第四十九條第二項第一号の政令で定める額は、別表第四の第一欄に掲げる特定継続的役務ごとに同表の第三欄に掲げる額とする。
第十六條 法第四十九條第二項第二号の政令で定める額は、別表第四の第一欄に掲げる特定継続的役務ごとに同表の第四欄に掲げる額とする。
第十七條 法第四十九條第二項第三号の政令で定める法人

第十八條 法第五十條の四の政令で定める物品は、次に掲げる物品とする。
一 自動車（二輪のものを除く。）
二 家庭用電気機械器具（携行が容易なものを除く。）
三 家具
四 書籍

第十九條 法第五十條の五の政令で定める物品は、次に掲げる物品とする。
一 自動車（二輪のものを除く。）
二 家庭用電気機械器具（携行が容易なものを除く。）
三 家具
四 書籍

第二十條 法第五十條の六の政令で定める物品は、次に掲げる物品とする。
一 自動車（二輪のものを除く。）
二 家庭用電気機械器具（携行が容易なものを除く。）
三 家具
四 書籍

第二十一條 法第五十條の七の政令で定める物品は、次に掲げる物品とする。
一 自動車（二輪のものを除く。）
二 家庭用電気機械器具（携行が容易なものを除く。）
三 家具
四 書籍

第二十二條 法第五十條の八の政令で定める物品は、次に掲げる物品とする。
一 自動車（二輪のものを除く。）
二 家庭用電気機械器具（携行が容易なものを除く。）
三 家具
四 書籍

五 有価証券
六 レコードプレーヤー用レコード及び磁気的方法又は光学的方法により音、影像又はプログラムを記録した物

(法第五十八條の十三第二項の政令で定める法人)

第十六條の四 第三條の四の規定は、法第五十八條の十三第二項の政令で定める法人について準用する。この場合において、第三條の四中「販売業者若しくは役員提供事業者」とあるのは「購入業者」と、「同条第一項前段、法第十五條第一項前段又は第二十三條第一項前段」とあり、及び「法第八條第一項前段、第十五條第一項前段又は第二十三條第一項前段」とあるのは「法第五十八條の十三第一項前段」と読み替えるものとする。

第十六條の五 法第五十八條の十七第二項第二号の政令で定める取引の態様は、次のいずれかに該当する取引の態様とする。

一 現に店舗において購入を行っている購入業者（次号及び第三号において「店舗購入業者」という。）が定期的に住居を巡回訪問し、物品の売買契約の申込み又は売買契約の締結の勧誘を行わず、単にその申込みを受け、又は請求を受けてこれを締結して行う購入

二 店舗購入業者が顧客（当該訪問の前一年間に、当該購入の事業に関して、取引（当該取引について法第五十八條の七から第五十八條の九まで、第五十八條の十一若しくは第五十八條の十一の二の規定に違反する行為又は法第五十八條の十二第一項第一号に掲げる行為がなかつたもの）に限り、法第五十八條の六若しくは第五十八條の十の規定に違反する行為又は法第五十八條の十二第一項第二号若しくは第三号に掲げる行為があつたものを除く。）のあつた者に限る。

三 店舗購入業者以外の購入業者が継続的取引関係にある顧客（当該訪問の前一年間に、当該購入の事業に関して、二以上の訪問につき取引（当該取引について法第五十八條の七から第五十八條の九まで、第五十八條の十一若しくは第五十八條の十一の二の規定に違反する行為又は法第五十八條の十二第一項第一号に掲げる行為がなかつたもの）に限り、法第五十八條の六若しくは第五十八條の十の規定に違反する行為又は法第五十八條の十二第一項第二号若しくは第三号に掲げる行為があつたものを除く。）のあつた者に限る。

四 通常売買契約の相手方が物品を処分する意思を有すると認められる場合として主務省令で定める場合において、その売買契約の相手方が購入業者の営業所等以外の場所における取引を誘引することにより行われる購入

(消費者委員会及び消費経済審議会への諮問)

第十六條の六 法第六十四條の規定による諮問は、次の各号（同条第二項の規定による諮問にあつては、第三号を除く。）に掲げる主務大臣が、当該各号に定める消費者委員会及び消費経済審議会に対してするものとする。

- 一 内閣総理大臣 消費者委員会
- 二 経済産業大臣 消費経済審議会

三 法第六十七條第一項第六号の当該商品、特定権利（法第二條第四項第二号及び第三号に掲げるものに限る。）若しくは物品の流通を所掌する大臣、当該権利に係る施設若しくは役務の提供を行う事業を所掌する大臣又は当該役務の提供を行う事業を所掌する大臣 消費者委員会及び消費経済審議会

(販売業者等に対する報告の徴収等)

第十七條 法第六十六條第一項の規定により主務大臣が販売業者、役員提供事業者、統括者、勧誘者、一般連鎖販売業者、業務提供誘引販売業者を行う者又は購入業者に対し報告又は帳簿、書類その他の物件の提出を命ずることができるとする事項は、次の表の上欄に掲げる区分に応じ、それぞれ同表の下欄に掲げる事項とする。

<p>販売業者 一 当該販売業者が訪問販売若しくは電話勧誘販売に係る売買契約又は特定権利販売契約の締結について行う勧誘に関する事項 二 当該販売業者が受ける訪問販売、通信販売若しくは電話勧誘販売に係る売買契約の申込み又は当該販売業者が行うこれらの売買契約若しくは特定権利販売契約若しくは関連商品販売契約の締結に関する事項 三 当該販売業者が締結する訪問販売、通信販売若しくは電話勧誘販売に係る売買契約又は特定権利販売契約若しくは関連商品販売契約の内容及びその履行に関する事項 四 当該販売業者が受けた訪問販売、通信販売若しくは電話勧誘販売に係る売買契約の申込み又は当該販売業者が締結した訪問販売、通信販売若しくは電話勧誘販売に係る売買契約若しくは特定権利販売契約若しくは関連商品販売契約の解除に関する事項 五 当該販売業者が行う通信販売又は特定継続的役務の提供を受ける権利の販売についての広告に関する事項 六 当該販売業者が特定申込みを受ける際の表示に関する事項 七 当該販売業者が特定継続的役務提供に係る前払取引を行う場合に行うその業務及び財産の状況を記載した書類の備付け、閲覧及び謄本又は抄本の交付に関する事項</p>	<p>役員提供事業者 一 当該役員提供事業者が訪問販売若しくは電話勧誘販売に係る役員提供契約又は特定継続的役務提供契約の締結について行う勧誘に関する事項 二 当該役員提供事業者が受ける訪問販売、通信販売若しくは電話勧誘販売に係る役員提供契約の申込み又は当該役員提供事業者が行うこれらの役員提供契約若しくは特定継続的役務提供契約若しくは関連商品販売契約の締結に関する事項 三 当該役員提供事業者が締結する訪問販売、通信販売若しくは電話勧誘販売に係る役員提供契約又は特定継続的役務提供契約若しくは関連商品販売契約の内容及びその履行に関する事項 四 当該役員提供事業者が受けた訪問販売、通信販売若しくは電話勧誘販売に係る役員提供契約の申込み又は当該役員提供事業者が締結した訪問販売、通信販売若しくは電話勧誘販売に係る役員提供契約若しくは特定継続的役務提供契約若しくは関連商品販売契約の解除に関する事項 五 当該役員提供事業者が行う通信販売又は特定継続的役務の提供についての広告に関する事項</p>	<p>統括者 一 当該統括者がその統括する一連の連鎖販売業に係る連鎖販売取引について行う勧誘に関する事項 二 当該統括者がその統括する一連の連鎖販売業に係る連鎖販売取引について勧誘者に行わせる勧誘に関する事項 三 当該統括者がその連鎖販売業に係る連鎖販売取引について行う契約の締結に関する事項 四 当該統括者がその連鎖販売業に係る連鎖販売取引について締結する契約の内容及びその履行に関する事項 五 当該統括者がその統括する一連の連鎖販売業に係る連鎖販売取引について行う契約の解除に関する事項 六 当該統括者がその統括する一連の連鎖販売業に係る連鎖販売取引について行う広告に関する事項 七 連鎖販売業に係る商品又は役務の種類、特定利益の内容その他の当該統括者が統括する一連の連鎖販売業に関する事項</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>2 法第六十六条第六項において準用する同条第一項の規定により主務大臣が通信販売電子メール広告受託事業者、連鎖販売取引電子メール広告受託事業者又は業務提供誘引販売取引電子メール広告受託事業者に対し報告又は帳簿、書類その他の物件の提出を命ずることができる事項は、当該通信販売取引電子メール広告受託事業者、連鎖販売取引電子メール広告受託事業者又は業務提供誘引販売取引電子メール広告受託事業者がそれぞれ販売業者若しくは役務提供事業者、統括者、勧誘者若しくは一般連鎖販売業者又は業務提供誘引販売業者を行う者から委託を受けて行う電子メール広告に関する事項とする。</p>	<p>勧誘者 一 当該勧誘者がその統括者の統括する一連の連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について行う勧誘に関する事項 二 当該勧誘者がその連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について行う契約の締結に関する事項 三 当該勧誘者がその連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について締結する契約の内容及びその履行に関する事項 四 当該勧誘者がその統括者の統括する一連の連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について行う契約の解除に関する事項 五 当該勧誘者がその統括者の統括する一連の連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について行う広告に関する事項 六 当該勧誘者が勧誘するその統括者の統括する一連の連鎖販売業者に係る連鎖販売取引についての統括者との契約関係に関する事項</p> <p>一般一 当該一般連鎖販売業者がその統括者の統括する一連の連鎖販売業者に係る連鎖販売取引に連関して行う勧誘に関する事項 二 当該一般連鎖販売業者がその連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について行う契約の締結に関する事項 三 当該一般連鎖販売業者がその連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について締結する契約の内容及びその履行に関する事項 四 当該一般連鎖販売業者がその統括者の統括する一連の連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について行う契約の締結に関する事項 五 当該一般連鎖販売業者がその統括者の統括する一連の連鎖販売業者に係る連鎖販売取引について行う広告に関する事項</p> <p>業務一 当該業務提供誘引販売業者を行う者がその業務提供誘引販売業者に係る業務提供誘引販売取引について行う勧誘に関する事項 二 当該業務提供誘引販売業者を行う者がその業務提供誘引販売業者に係る業務提供誘引販売取引について行う契約の締結に関する事項 三 当該業務提供誘引販売業者を行う者がその業務提供誘引販売業者に係る業務提供誘引販売取引について締結する契約の内容及びその履行に関する事項 四 当該業務提供誘引販売業者を行う者がその業務提供誘引販売業者に係る業務提供誘引販売取引について行う契約の締結に関する事項 五 当該業務提供誘引販売業者を行う者がその業務提供誘引販売業者に係る業務提供誘引販売取引について行う広告に関する事項</p> <p>購入一 当該購入業者が訪問購入に係る売買契約の締結について行う勧誘に関する事項 二 当該購入業者が受ける訪問購入に係る売買契約の申込み又は当該購入業者が行う当該売買契約の締結に関する事項 三 当該購入業者が締結する訪問購入に係る売買契約の内容及びその履行に関する事項 四 当該購入業者が受けた訪問購入に係る売買契約の申込みの撤回又は当該購入業者が締結した訪問購入に係る売買契約の解除に関する事項 五 当該購入業者が訪問購入に係る売買契約の相手方から引渡しを受けた物品の第三者への引渡しに関する事項</p>
<p>(金融庁長官等に委任されない権限) 第十八条 法第六十七条第二項の政令で定める権限は、法第六十一条第一項、第六十三条及び第六十四条第一項の規定による権限とする。 2 法第六十七条第三項の政令で定める権限は、法第六十一条第一項、第六十三条及び第六十四条の規定による権限とする。</p>	<p>第十七条の二 法第六十六条第二項の報告又は資料の提出を命ずることができる事項は、同表の上欄に掲げる者ごとに、それぞれ同表の下欄に掲げる事項とする。</p> <p>法第四十八条第二項に規定する関連商品の販売を行う者 一 その者が締結する当該関連商品の販売契約の内容及びその履行に関する事項 二 その者が締結した当該関連商品の販売契約の解除に関する事項</p> <p>その者が締結する当該業務提供誘引販売取引に係る業務を提供する契約の内容及びその履行に関する事項</p> <p>購入業者が訪問購入に係る売買契約の相手方から引その者が引渡しを受けた当該物品の引渡しに連関して行った物品の引渡し(法第五十八条の十四第四項ただし書に規定する場合におけるものを除く。)を受けた第三者 販売業者等(法第六十六条第一項に規定する販売業者その者が行う販売業者等が行う特定商取引に関する事項をいう。以下この表において同じ。)が行う特定する事項であつて顧客(電話勧誘顧客を含む。)商取引に関する事項であつて、顧客(電話勧誘顧客若しくは購入者若しくは役務の提供を受けるを含む。)若しくは購入者若しくは役務の提供を受け、連鎖販売取引の相手方、業務提供誘引販売業者、連鎖販売取引の相手方、業務提供誘引販売業者等、当該販売業者等の子関する事項 法人等及び当該販売業者等を子法人等とする親法人等(除く。)又は販売業者等の関連法人等 備考 一 「親法人等」とは、他の法人等(会社、組合その他これらに準ずる事業体をいう。以下この表において同じ。)の財務及び営業又は事業の方針を決定する機関(株主総会その他これに準ずる機関をいう。以下この号において「意思決定機関」という。)を支配している法人等として主務省令で定めるものをいい、「子法人等」とは、親法人等によりその意思決定機関を支配されている他の法人等をいう。この場合において、親法人等及び子法人等又は子法人等が他の法人等の意思決定機関を支配している場合における当該他の法人等は、その親法人等の子法人等とみなす。 二 「関連法人等」とは、法人等が出資、取締役その他これに準ずる役職への当該法人等の役員若しくは使用人である者若しくはこれらであつた者の就任、融資、債務の保証若しくは担保の提供、技術の提供又は営業上若しくは事業上の取引等を通じて、財務及び営業又は事業の方針の決定に対して重要な影響を与えることができる他の法人等(子法人等を除く。)として主務省令で定めるものをいう。</p>

(都道府県が処理する事務)

第十九条 法第七条から第八条の二まで、第三十八条から第三十九条の二まで、第四十六条から第四十七条の二まで、第五十六条から第五十七条の二まで及び第五十八条の十二から第五十九条の十三の二までに規定する主務大臣の権限に属する事務並びにその事務に係る法第六条の二、第三十四条の二、第三十六条の二、第四十三条の二、第四十四条の二、第五十二条の二、第五十四条の二、第六十六条第一項から第四項まで(同条第六項において準用する場合を含む。)、第六十六条の二並びに第六十六条の五第一項及び第二項に規定する主務大臣の権限に属する事務で、当該都道府県の区域内における販売業者、役員提供事業者、統括者、勧誘者、一般連鎖販売業者、業務提供誘引販売業者を行う者又は購入業者の業務(連鎖販売取引電子メール広告受託事業者又は業務提供誘引販売取引電子メール広告受託事業者が受託して行うものを含む。)、都道府県知事が行うこととする。ただし、以上の都道府県の区域にわたる訪問販売に係る取引、連鎖販売取引、特定継続的役員提供に係る取引、業務提供誘引販売取引若しくは訪問購入に係る取引の公正及び購入者等の利益が害されるおそれがあり、主務大臣がその事態に適正かつ効率的に対処するため特に必要があると認めるとき、又は都道府県知事から要請があつたときは、主務大臣が自らその事務を行うことを妨げない。

2 法第十四条から第十五条の二までに規定する主務大臣の権限に属する事務並びにその事務に係る法第十二条の二、第六十六条第一項から第四項まで(同条第六項において準用する場合を含む。)、第六十六条の二並びに第六十六条の五第一項及び第二項に規定する主務大臣の権限に属する事務は、販売業者又は役員提供事業者の通信販売についての広告(通信販売電子メール広告受託事業者が受託して行うものを含む。)、がされた場所又は地域を含む都道府県の区域を管轄する都道府県知事が行うこととする。ただし、二以上の都道府県の区域にわたる通信販売に係る取引の公正及び購入者等の利益が害されるおそれがあり、主務大臣がその事態に適正かつ効率的に対処するため特に必要があると認めるとき、又は都道府県知事から要請があつたときは、主務大臣が自らその事務を行うことを妨げない。

3 法第二十二條から第二十三條の二までに規定する主務大臣の権限に属する事務並びにその事務に係る法第二十一條の二、第六十六條第一項から第四項まで、第六十六條の二並びに第六十六條の五第一項及び第二項に規定する主務大臣の権限に属する事務は、販売業者又は役員提供事業者の電話勧誘販売に係る勧誘の相手方が当該誘を受けた場所を含む都道府県の区域を管轄する都道府県知事が行うこととする。ただし、二以上の都道府県の区域にわたる電話勧誘販売に係る取引の公正及び購入者等の利益が害されるおそれがあり、主務大臣がその事態に適正かつ効率的に対処するため特に必要があると認めるとき、又は都道府県知事から要請があつたときは、主務大臣が自らその事務を行うことを妨げない。

4 訪問販売に係る取引、連鎖販売取引、特定継続的役員提供に係る取引、業務提供誘引販売取引及び訪問購入に係る取引に関する法第六十条に規定する主務大臣の権限に属する事務で、当該都道府県の区域内における販売業者、役員提供事業者、統括者、勧誘者、一般連鎖販売業者、業務提供誘引販売業者を行う者又は購入業者の業務(連鎖販売取引電子メール広告受託事業者又は業務提供誘引販売取引電子メール広告受託事業者が受託して行うものを含む。))に係るものは、都道府県知事が行うこととする。ただし、主務大臣が自らその事務を行うことを妨げない。

5 通信販売に係る取引に関する法第六十条に規定する主務大臣の権限に属する事務は、販売業者又は役員提供事業者の通信販売についての広告(通信販売電子メール広告受託事業者が受託して行うものを含む。))がされた場所又は地域を含む都道府県の区域を管轄する都道府県知事が行うこととする。ただし、主務大臣が自らその事務を行うことを妨げない。

6 電話勧誘販売に係る取引に関する法第六十条に規定する主務大臣の権限に属する事務は、販売業者又は役員提供事業者の電話勧誘販売に係る勧誘の相手方が当該勧誘を受けた場所を含む都道府県の区域を管轄する都道府県知事が行うこととする。ただし、主務大臣が自らその事務を行うことを妨げない。

7 第一項から第三項までの規定により法第六条の二から第八条の二まで、第十二条の二、第十四条から第十五条の二まで、第二十一条の二から第二十三条の二まで、第三十四条の二、第三十六

条の二、第三十八条から第三十九条の二まで、第四十三条の二、第四十四条の二、第四十六条から第四十七条の二まで、第五十二条の二、第五十四条の二、第五十六条から第五十七条の二まで、第五十八条の十二から第五十九条の十三の二まで、第六十六条第一項から第四項まで(同条第六項において準用する場合を含む。)、第六十六条の二又は第六十六条の五第一項若しくは第二項に規定する主務大臣の権限に属する事務を行った都道府県知事は、速やかに、その結果を主務大臣に報告しなければならない。

8 第一項本文、第二項本文、第三項本文、第四項本文、第五項本文及び第六項本文の場合においては、法中第一項本文、第二項本文、第三項本文、第四項本文、第五項本文及び第六項本文に規定する事務に係る主務大臣に関する規定は、都道府県知事に関する規定として都道府県知事に適用があるものとする。

(権限の委任)

第二十條 法第六十七條第二項の規定により金融庁長官に委任された権限のうち次の各号に掲げるものは、当該各号に定める財務局長又は財務支局長に委任する。ただし、金融庁長官が自らその権限を行うことを妨げない。

一 法第六条の二から第八条の二まで、第六十条、第六十六条第一項から第四項まで、第六十六条の二並びに第六十六条の五第一項及び第二項の規定による権限で訪問販売に係る取引に関するもの。当該販売業者又は役員提供事業者がその業務を行う区域を管轄する財務局長又は財務支局長

二 法第十二条の二、第十四条から第十五条の二まで、第六十条、第六十六条第一項から第四項まで、第六十六条の二並びに第六十六条の五第一項及び第二項の規定による権限で通信販売に係る取引に関するもの。当該販売業者又は役員提供事業者の通信販売に係る勧誘の相手方が当該場所又は地域を管轄する財務局長又は財務支局長

三 法第二十一条の二から第二十三条の二まで、第六十条、第六十六条第一項から第四項まで、第六十六条の二並びに第六十六条の五第一項及び第二項の規定による権限で電話勧誘販売に係る取引に関するもの。当該販売業者又は役員提供事業者の電話勧誘販売に係る勧誘の相手方が当該勧誘を受けた場所を管轄する財務局長又は財務支局長

四 法第五十八条の二から第五十九条の十三の二まで、第六十条、第六十六条第一項から第四項まで、第六十六条の二並びに第六十六条の五第一項及び第二項の規定による権限で訪問購入に係る取引に関するもの。当該購入業者がその業務を行う区域を管轄する財務局長又は財務支局長

2 法第六十七條第三項の規定により消費者庁長官に委任された権限のうち次の各号に掲げるものは、当該各号に定める経済産業局長に委任する。ただし、消費者庁長官が自らその権限を行うことを妨げない。

一 法第六条の二から第八条の二まで、第三十四条の二、第三十六条の二、第三十八条から第三十九条の二まで、第四十三条の二、第四十四条の二、第四十六条から第四十七条の二まで、第五十二条の二、第五十四条の二、第五十六条から第五十七条の二まで、第五十八条の十二から第五十八条の十三の二まで、第六十条、第六十六条第一項から第四項まで(同条第六項において準用する場合を含む。)、第六十六条の二並びに第六十六条の五第一項及び第二項の規定による権限で訪問販売に係る取引、連鎖販売取引、特定継続的役員提供に係る取引、業務提供誘引販売取引又は訪問購入に係る取引、連鎖販売取引、特定継続的役員提供に係る取引、業務提供誘引販売取引一般連鎖販売業者、業務提供誘引販売業者を行う者又は購入業者がその業務(連鎖販売取引電子メール広告受託事業者又は業務提供誘引販売取引電子メール広告受託事業者が受託して行うものを含む。))を行う区域を管轄する経済産業局長

二 法第十二条の二、第十四条から第十五条の二まで、第六十条、第六十六条第一項から第四項まで(同条第六項において準用する場合を含む。)、第六十六条の二並びに第六十六条の五第一項及び第二項の規定による権限で通信販売に係る取引に関するもの。当該販売業者又は役員提

権利」という。)又は役員提供事業者が新令別表第三に掲げる指定役務のうち改正前の同表に掲げられていないもの(以下この条において「追加指定役務」という。)につき受けた売買契約又は役員提供契約の申込みについては、適用しない。

2 法第五条、第十条、第十九条及び第二十五条の規定は、この政令の施行前に追加指定商品若しくは追加指定役務につき締結された売買契約又は役員提供契約については、適用しない。

3 法第九条及び第二十四条の規定は、この政令の施行前に販売業者若しくは役員提供事業者が追加指定商品若しくは追加指定役務につき受けた売買契約若しくは役員提供契約がこの政令の施行後に締結された場合におけるその申込みに係る売買契約若しくは役員提供契約がこの政令の施行前に追加指定商品若しくは追加指定役務若しくは追加指定役務につき締結された売買契約若しくは役員提供契約については、適用しない。

(罰則の適用に関する経過措置)

第三条 この政令の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日) (平成一四年二月一八日政令第三八六号) 抄

第一条 この政令は、平成十五年四月一日から施行する。

附 則

(施行期日) (平成一五年六月四日政令第二四五号)

第一条 この政令は、平成十五年七月一日から施行する。

附 則

(経過措置)

第二条 特定商取引に関する法律(以下「法」という。)第四条、第十三条、第十八条及び第二十条の規定は、次に掲げる契約の申込みについては、適用しない。

一 この政令の施行前に販売業者が追加指定商品(この政令による改正後の特定商取引に関する法律施行令(以下「新令」という。)別表第一に掲げる物品のうち、この政令による改正前の特定商取引に関する法律施行令(以下「旧令」という。)別表第一に掲げられていないもの)を

二 この政令の施行前に役員提供事業者が追加指定役務(新令別表第三に掲げる役務のうち、旧令別表第三に掲げられていないもの)を(以下同じ。)につき受けた役員提供契約の申込み

法第五条、第十条、第十九条及び第二十五条の規定は、この政令の施行前に追加指定商品又は追加指定役務につき締結された売買契約又は役員提供契約については、適用しない。

3 法第九条及び第二十四条の規定は、この政令の施行前に販売業者若しくは役員提供事業者が追加指定商品若しくは追加指定役務につき受けた売買契約若しくは役員提供契約がこの政令の施行後に締結された場合におけるその申込みに係る売買契約若しくは役員提供契約がこの政令の施行前に追加指定商品若しくは追加指定役務につき締結された売買契約若しくは役員提供契約については、適用しない。

附 則

(施行期日) (平成一五年七月一八日政令第三二五号)

第一条 この政令は、平成十六年一月一日から施行する。

附 則

(経過措置)

第二条 特定商取引に関する法律第四十二条第二項及び第三項、第四十八条並びに第四十九条の規定は、この政令の施行前にこの政令による改正後の特定商取引に関する法律施行令別表第五の五の項及び六の項第一欄に掲げる特定継続的役務又は当該特定継続的役務の提供を受ける権利につき締結された特定継続的役務提供契約又は特定権利販売契約については、適用しない。

附 則

(施行期日) (平成一六年八月二七日政令第二六一号) 抄

第一条 この政令は、平成十六年十一月十一日

から施行する。

附 則

(経過措置)

第二条 特定商取引に関する法律施行令の一部を改正する法律の施行の日(平成十六年十一月十一日)から施行する。

附 則

(施行期日)

第一条 この政令は、特定商取引に関する法律及び割賦販売法の一部を改正する法律の施行の日(平成十六年十一月十一日)から施行する。

附 則

(経過措置)

第二条 特定商取引に関する法律施行令の一部を改正する法律の施行の日(平成十六年十一月十一日)から施行する。

附 則

(施行期日)

第一条 この政令は、平成十九年七月十五日から施行する。ただし、第十八条の改正規定は、同日

(特定商取引に関する法律施行令の一部改正に伴う経過措置)

2 法第五条、第十条、第十九条及び第二十五条の規定は、この政令の施行前に追加指定商品若しくは追加指定役務につき締結された売買契約又は役員提供契約については、適用しない。

3 法第九条及び第二十四条の規定は、この政令の施行前に販売業者若しくは役員提供事業者が追加指定商品若しくは追加指定役務につき受けた売買契約若しくは役員提供契約がこの政令の施行後に締結された場合におけるその申込みに係る売買契約若しくは役員提供契約がこの政令の施行前に追加指定商品若しくは追加指定役務若しくは追加指定役務につき締結された売買契約若しくは役員提供契約については、適用しない。

(罰則の適用に関する経過措置)

第三条 この政令の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則

(施行期日) (平成一八年四月二六日政令第一八〇号) 抄

第一条 この政令は、平成十八年五月一日から施行する。

附 則

(施行期日) (平成一九年六月二〇日政令第一八三号)

第一条 この政令は、平成十九年七月十五日から施行する。ただし、第十八条の改正規定は、同日

から施行する。

附 則

(経過措置)

第二条 特定商取引に関する法律(以下「法」という。)第四条、第十三条、第十八条及び第二十条の規定は、次に掲げる契約の申込みについては、適用しない。

一 この政令の施行前に販売業者が追加指定商品(この政令による改正後の別表第三に掲げる物品のうち、この政令による改正前の別表第三に掲げられていないもの)を(以下同じ。)につき受けた役員提供契約の申込み

二 この政令の施行前に役員提供事業者が追加指定役務(この政令による改正後の別表第三に掲げる役務のうち、この政令による改正前の別表第三に掲げられていないもの)を(以下同じ。)につき受けた役員提供契約の申込み

法第五条、第十条、第十九条及び第二十五条の規定は、この政令の施行前に追加指定商品又は追加指定役務につき締結された売買契約又は役員提供契約については、適用しない。

3 法第九条及び第二十四条の規定は、この政令の施行前に販売業者若しくは役員提供事業者が追加指定商品若しくは追加指定役務につき受けた売買契約若しくは役員提供契約がこの政令の施行後に締結された場合におけるその申込みに係る売買契約若しくは役員提供契約がこの政令の施行前に追加指定商品若しくは追加指定役務につき締結された売買契約若しくは役員提供契約については、適用しない。

附 則

(施行期日) (平成一九年二月二二日政令第三六三号) 抄

第一条 この政令は、学校教育法等の一部を改正する法律の施行の日(平成十九年十二月二十六日)から施行する。

附 則

(経過措置)

第二条 特定商取引に関する法律施行令の一部を改正する法律の施行の日(平成十九年十二月二十六日)から施行する。

附 則

(経過措置)

第三条 特定商取引に関する法律施行令の一部を改正する法律の施行の日(平成十九年十二月二十六日)から施行する。

附 則

(経過措置)

第四条 特定商取引に関する法律施行令の一部を改正する法律の施行の日(平成十九年十二月二十六日)から施行する。

附 則

(経過措置)

第五条 特定商取引に関する法律施行令の一部を改正する法律の施行の日(平成十九年十二月二十六日)から施行する。

附 則

(経過措置)

第六条 特定商取引に関する法律施行令の一部を改正する法律の施行の日(平成十九年十二月二十六日)から施行する。

附 則

この政令は、特定商取引に関する法律及び割賦販売法の一部を改正する法律（平成二十年法律第七十四号）附則第一条第二号に掲げる規定の施行の日（平成二十年十二月一日）から施行する。

附則（平成二十二年四月三日政令第一一七号）

（施行期日）

第一条 この政令は、特定商取引に関する法律及び割賦販売法の一部を改正する法律の施行の日から施行する。ただし、附則第三条の規定は、消費者庁及び消費者委員会設置法（平成二十一年法律第四十八号）の施行の日（平成二十一年九月一日）から施行する。

（経過措置）

第二条 この政令による改正後の特定商取引に関する法律施行令（以下この条において「新令」という。）第八号第二号の規定は、販売業者又は役員提供事業者が、当該訪問の前一年間における当該販売又は役員提供の事業に関する取引（以下この項及び次項において「訪問前取引」という。）のあった顧客に対してその住居を訪問して行う販売又はその住居を訪問して役員提供契約の申込みを受け若しくは役員提供契約を締結して行う役員提供であつて、当該訪問前取引がこの政令の施行後にあつたものについて適用し、当該訪問前取引がこの政令の施行前であつたものについては、なお従前の例による。

2 新令第八号第三号の規定は、販売業者又は役員提供事業者が、訪問前取引が二以上の訪問につきあつた継続的取引関係にある顧客に対してその住居を訪問して行う販売又はその住居を訪問して役員提供契約の申込みを受け若しくは役員提供契約を締結して行う役員提供であつて、当該二以上の訪問につきあつた訪問前取引がいずれもこの政令の施行後にあつたものについて適用し、当該二以上の訪問につきあつた訪問前取引のいずれかがこの政令の施行前であつたものについては、なお従前の例による。

3 新令第十条の規定は、販売業者又は役員提供事業者が、当該勧誘の前一年間における当該販売又は役員提供の事業に関する取引（以下この項において「勧誘前取引」という。）が二以上あつた継続的取引関係にある顧客に対して電話をかけたその電話において行う売買契約又は役員提供契約の締結についての勧誘により、当該売買契約の申込みを郵便等（特定商取引に関する法律第二条第二項に規定する郵便等をいう。以下この項において同じ。）により受け、若しくは当該売買契約を郵便等により締結して行う販売又は当該役員提供契約の申込みを郵便等により受け、若しくは当該役員提供契約を郵便等により締結して行う役員提供であつて、当該二以上の勧誘前取引がいずれもこの政令の施行後にあつたものについて適用し、当該二以上の勧誘前取引のいずれかがこの政令の施行前であつたものについては、なお従前の例による。

第三条 特定商取引に関する法律及び割賦販売法の一部を改正する法律附則第四条第十項及び第十二項の規定による諮問は、次の各号（同項の規定による諮問にあつては、第三号を除く。）に掲げる主務大臣が、当該各号に定める消費者委員会及び消費経済審議会に対してするものとする。

- 一 内閣総理大臣 消費者委員会
二 経済産業大臣 消費経済審議会
三 消費者庁及び消費者委員会設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律（平成二十一年法律第四十九号）第十七条の規定による改正後の特定商取引に関する法律第六十七条第一項第六号の当該商品の流通を所掌する大臣、当該権利に係る施設若しくは役員提供を行う事業を所掌する大臣又は当該役員提供を行う事業を所掌する大臣 消費者委員会及び消費経済審議会

附則（平成二十二年八月一四日政令第二二七号）抄

（施行期日）

1 この政令は、消費者庁及び消費者委員会設置法の施行の日（平成二十一年九月一日）から施行する。（罰則に関する経過措置）

2 この政令の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附則（平成二十二年三月三一日政令第六二二号）

（施行期日）

第一条 この政令は、平成二十二年四月一日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

一 別表第二第十三号及び第三十号の改正規定並びに次条第二項及び附則第三条の規定、商品取引所法及び商品投資に係る事業の規制に関する法律の一部を改正する法律（平成二十一年法律第七十四号）以下「商品取引所法等改正法」という。）の施行の日
二 別表第二第三十一号の改正規定、貸金業の規制等に関する法律等の一部を改正する法律（平成十八年法律百十五号）附則第一条第四号に掲げる規定の施行の日

（経過措置）

第二条 この政令による改正後の特定商取引に関する法律施行令（以下「新令」という。）第五条の二の規定は、この政令の施行の日以後に同条に規定する許可事業者等となつた者について適用する。

2 新令第五条の二の規定は、商品取引所法等改正法の施行の際現に商品取引所法等改正法第三条の規定による改正前の商品取引所法（昭和二十五年法律第二百三十九号）第二条第十八項に規定する商品取引員又は商品取引所法等改正法附則第二条の規定による廃止前の海外商品市場における先物取引の受託等に関する法律（昭和五十七年法律第六十五号）次条において「旧海外商品先物取引法」という。）第二条第五項に規定する海外商品取引業者である者で、商品取引所法等改正法附則第七条第二項又は第三項の規定により商品先物取引法（昭和二十五年法律第二百三十九号）第九十号第一項の許可を受けたものとみなされ新令別表第二第十三号に規定する商品先物取引業者となつたものが商品取引所法等改正法の施行の前日に締結した契約、同日前に受けた申込み又は同日以後にその申込みにより締結した契約に係る役員提供であつてこの政令による改正前の特定商取引に関する法律施行令（以下「旧令」という。）別表第二第十三号又は第三十号に規定する役員提供に相当するものについては、適用しない。

3 新令第五条の二の規定は、資金決済に関する法律（平成二十一年法律第五十九号）附則第五条第一項の規定により同法第三条第三項に規定する第三者型発行者となつたものとみなされ新令別表第二第四十九号に規定する前払式支払手段発行者となつた者がこの政令の施行の前日に締結した契約、同日前に受けた申込み又は同日以後にその申込みにより締結した契約に係る販売又は役員提供であつて旧令別表第二第三十六号に規定する販売又は役員提供に相当するものについては、適用しない。

第三条 旧令別表第二第三十号の規定は、商品取引所法等改正法附則第三条の規定により旧海外商品先物取引法の規定がなおその効力を有する間、なお効力を有するものとする。

附則（平成二十三年五月二二日政令第一三八号）抄

（施行期日）

第一条 この政令は、保険業法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行の日（平成二十三年五月十三日）から施行する。

附則（平成二十三年六月二四日政令第一八一号）抄

（施行期日）

第一条 この政令は、放送法等の一部を改正する法律（平成二十二年法律第六十五号）以下「放送法等改正法」という。）の施行の日（平成二十三年六月三十日）以下「施行日」という。）から施行する。

（特定商取引に関する法律施行令の一部改正に伴う経過措置）

第十一条 特定商取引に関する法律施行令第五条の二の規定は、次の各号に掲げる者が施行日前に締結した契約、施行日前に受けた申込み又は施行日以後にその申込みにより締結した契約に係る役員提供であつて当該各号に定める役員提供に相当するものについては、適用しない。

たものについて適用し、当該訪問前購入取引がこの政令の施行前にあったものについては、なお従前の例による。

5 新令第十六条の第三号の規定は、店舗購入業者以外の購入業者が、訪問前購入取引が二以上の訪問につきあった継続的取引関係にある顧客に対してその住居を訪問して行う購入であつて、当該二以上の訪問につきあった訪問前購入取引がいずれもこの政令の施行後にあったものについて適用し、当該二以上の訪問につきあった訪問前購入取引のいずれかがこの政令の施行前にあったものについては、なお従前の例による。

6 法第四十二条第二項及び第三項並びに第四十八条から第四十九条の二までの規定は、この政令の施行前に新令別表第四の二の項に掲げる特定継続的役務につき締結された特定継続的役務提供契約（法第四十一条第一項第一号に掲げる特定継続的役務提供契約をいう。）又は当該特定継続的役務の提供を受ける権利につき締結された特定権利販売契約（法第四十一条第一項第二号に規定する特定権利販売契約をいう。）については、適用しない。

7 この政令の施行前に新令別表第四の三の項から六の項までに掲げる特定継続的役務の提供に際し締結された関連商品販売契約（法第四十八条第二項に規定する関連商品販売契約をいう。）については、新令別表第五第三号ロ及び第四号ハの規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成二十九年八月一日政令第二二七号） 抄

1 この政令は、不動産特定共同事業法の一部を改正する法律の施行の日（平成二十九年十二月一日）から施行する。

附 則（平成二十九年一月二七日政令第二七三三号） 抄

1 この政令は、法の施行の日（平成三十年六月十五日）から施行する。

附 則（平成三〇年五月三〇日政令第一七三三号） 抄

1 この政令は、銀行法等の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）の施行の日（平成三十年六月一日）から施行する。

附 則（令和二年一月三十一日政令第二二二号）

この政令は、道路運送車両法の一部を改正する法律の施行の日（令和二年四月一日）から施行する。

附 則（令和二年四月三日政令第一四二二号） 抄

1 この政令は、情報通信技術の進展に伴う金融取引の多様化に対応するための資金決済に関する法律等の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）の施行の日（令和二年五月一日）から施行する。ただし、第七条中特定商取引に関する法律施行令附則第三項第二号の改正規定並びに次条並びに附則第四条及び第八条の規定は、公布の日から施行する。

附 則（令和二年七月八日政令第二二七号） 抄

この政令の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（令和二年七月八日政令第二二七号） 抄

この政令は、改正法施行日（令和二年十二月一日）から施行する。

附 則（令和二年七月八日政令第二二七号） 抄

この政令の施行前にした行為及び附則第二条の規定によりなおその効力を有することとされる場合におけるこの政令の施行後にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（令和三年六月二日政令第一六二二号） 抄

1 この政令は、金融サービスの利用者の利便の向上及び保護を図るための金融商品の販売等に関する法律等の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）の施行の日（令和三年十一月一日）から施行する。

附 則（令和三年一月二〇日政令第三〇九号）

この政令は、新型コロナウイルス感染症等の影響による社会経済情勢の変化に対応して金融の機能の強化及び安定の確保を図るための銀行法等の一部を改正する法律の施行の日（令和三年一月二十二日）から施行する。

附 則（令和三年二月二四日政令第三四四号） 抄

この政令は、特許法等の一部を改正する法律（以下「改正法」という。）の施行の日（令和四年四月一日）から施行する。

附 則（令和四年一月四日政令第四四号） 抄

1 この政令は、消費者被害の防止及びその回復の促進を図るための特定商取引に関する法律等の一部を改正する法律の施行の日（令和四年六月一日）から施行する。

別表第一（第三条関係）

一 保養のための施設又はスポーツ施設を利用する権利
二 映画、演劇、音楽、スポーツ、写真又は絵画、彫刻その他の美術工芸品を鑑賞し、又は観覧する権利
三 語学の教授を受ける権利

別表第二（第五条、第五条の二関係）

一 軌道法（大正十年法律第七十六号）第四条に規定する軌道経営者が同法第三条に規定する事業として行う役務の提供
二 無尽業法（昭和六年法律第四十二号）第二条第一項の免許を受けた無尽会社が同法第一条に規定する役務の提供及び同法第三十五条の二第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同項各号列記以外の部分に規定する役務の提供（昭和十八年法律第四十三号）第一条第一項の認可を受けた同項に規定する金融機関が行う同項に規定する役務の提供又は同項に規定する事業若しくは業務として行う役務の提供及び同法第十二条の二第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同項各号列記以外の部分に規定する役務の提供

四 農業協同組合法（昭和二十二年法律第三十二号）第九十二条の二第三項に規定する特定信用事業代理業者が行う同条第二項に規定する役務の提供又は同法第九十二条の四第一項において準用する同条第二項の規定により読み替えられた銀行法（昭和五十六年法律第五十九号）第五十二条の四十二第一項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する主務大臣の承認を受けた業務として行うものを除く）、農業協同組合法第九十二条の五の三第一項に規定する特定信用事業電子決済等代行業者（以下この号において単に「特定信用事業電子決済等代行業者」という。）が行う同法第九十二条の五の二第二項に規定する役務の提供、同法第九十二条の五の八第六項の規定により特定信用事業電子決済等代行業者とみなされる電子決済等代行業者（銀行法第二条第十八項に規定する電子決済等代行業者をいい、金融サービスの提供に関する法律（平成十二年法律第一百号）第十八条第二項の規定により銀行法第二条第十八項に規定する電子決済等代行業者とみなされる金融サービス仲介業者（金融サービスの提供に関する法律第十一条第六項に規定する金融サービス仲介業者をいう。第四十二号において同じ。）を含む。以下同じ。）が行う農業協同組合法第九十二条の五の二第二項に規定する役務の提供及び同法第九十二条の六第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同法第五項第一号に規定する役務の提供

五 金融商品取引法（昭和二十三年法律第二十五号）第二条第三十六項に規定する信用格付業者が行う同条第三十五項に規定する信用格付業に係る商品の販売又は役務の提供、同法第三十五条第一項に規定する金融商品取引業者が行う同項各号に掲げる業務に係る特定権利の販売若しくは役務の提供（同項第五号、第六号、第九号から第十二号まで及び第十五号に掲げるもの並びに同法第二条第八項に規定する金融商品取引業として行うものを除く。）又は同法第三十五

条第一項に規定する業務として行う商品の販売若しくは役務の提供、同法第六十三條第五項に規定する特例業務届出者が行う同条第二項に規定する適格機関投資家等特例業務に係る特定権利の販売又は役務の提供、同法第六十三條の八第一項に規定する海外投資家等特例業務届出者が行う同法第六十三條の八第一項に規定する海外投資家等特例業務に係る特定権利の販売又は役務の提供、同法第五十六條の三十八第一項に規定する指定紛争解決機関が行う同条第十一項に規定する紛争解決等業務に係る役務の提供及び同法附則第三條の三第一項に規定する外国投資運用業者が行う同条第五項に規定する移行期間特例業務に係る特定権利の販売又は役務の提供

六 公認会計士が行う公認会計士法（昭和二十三年法律第百三十三号）第二条第一項又は第二項に規定する役務の提供、同法第六十六條の二第五項に規定する外国公認会計士が行う同法第二条第一項又は第二項に規定する役務の提供及び同法第三十四條の二の二第一項に規定する監査法人が行う同法第三十四條の五に規定する業務として行う役務の提供（同条第二号に掲げるものを除く。）

七 水産業協同組合法（昭和二十三年法律第百四十二号）第六條第三項に規定する特定信用事業代理業者が行う同条第二項に規定する役務の提供又は同法第八條第一項において準用する同条第二項の規定により読み替えられた銀行法第五十二條の四十二第一項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する主務大臣の承認を受けた業務として行うものを除く。）、水産業協同組合法第百十一條第一項に規定する特定信用事業電子決済等代行業者（以下この号において単に「特定信用事業電子決済等代行業者」という。）が行う同法第百十條第二項に規定する役務の提供、同法第百十六條第六項の規定により特定信用事業電子決済等代行業者とみなされる電子決済等代行業者が行う同法第百十條第二項に規定する役務の提供及び同法第百十八條第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同条第五項第一号に規定する役務の提供

七の二 中小企業等協同組合法（昭和二十四年法律第百八十一号）第六十九條の二第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同条第六項第一号に規定する役務の提供

八 協同組合による金融事業に関する法律（昭和二十四年法律第百八十三号）第六條の三第三項に規定する信用協同組代理業者が行う同条第二項に規定する役務の提供又は同法第六條の五第一項において準用する銀行法第五十二條の四十二第一項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する内閣総理大臣の承認を受けた業務として行うものを除く。）、協同組合による金融事業に関する法律第六條の五の三第一項に規定する信用協同組合電子決済等代行業者（以下この号において単に「信用協同組合電子決済等代行業者」という。）が行う同法第六條の五の二第二項に規定する役務の提供及び同法第六條の五の九第六項の規定により信用協同組合電子決済等代行業者とみなされる電子決済等代行業者が行う同法第六條の五の二第二項に規定する役務の提供

九 海上運送法第三條第一項の許可を受けた同法第八條第一項に規定する一般旅客定期航路事業者が同法第二條第五項に規定する事業として行う役務（同法第十九條の四第一項に規定する事業として行う役務を除く。）の提供及び同法第二十一條第一項の許可を受けた同法第二十一條の二に規定する旅客不定期航路事業者が同法第二十一條第一項に規定する事業として行う役務の提供

十 放送法（昭和二十五年法律第百三十二号）第二條第二十六号に規定する放送事業者が行う同条第一号に規定する役務の提供

十一 司法書士が行う司法書士法（昭和二十五年法律第百九十七号）第三條第一項に規定する役務の提供及び同法第二十六條に規定する司法書士法人が同法第二十九條第一項に規定する業務として行う役務の提供

十二 土地家屋調査士が行う土地家屋調査士法（昭和二十五年法律第百二十八号）第三條第一項に規定する役務の提供及び同法第二十六條に規定する土地家屋調査士法人が同法第二十九條第一項に規定する業務として行う役務の提供

十三 商品先物取引法（昭和二十五年法律第百三十九号）第二條第二十三項に規定する商品先物取引業者が行う同条第二十二項に規定する商品の販売又は役務の提供及び同条第二十九項に規定する商品先物取引仲介業者が行う同条第二十八項に規定する役務の提供

十四 行政書士が行う行政書士法（昭和二十六年法律第四号）第一条の二第一項又は第一条の三に規定する役務の提供及び同法第十三條の三に規定する行政書士法人が同法第十三條の六に規定する業務として行う役務の提供

十五 道路運送法第四條第一項の許可を受けた同法第九條第六項第三号に規定する一般旅客自動車運送事業者が同法第三條第一号に規定する事業として行う役務の提供

十六 道路運送車両法（昭和二十六年法律第百八十五号）第七十八條第四項に規定する自動車特定整備事業者が行う自動車の点検又は整備

十七 税理士が行う税理士法（昭和二十六年法律第百三十七号）第二条第一項若しくは第二項又は第二条の二第一項に規定する役務の提供及び同法第四十八條の二に規定する税理士法人が行う同法第四十八條の五に規定する業務として行う役務の提供又は同法第四十八條の六に規定する役務の提供

十八 信用金庫法（昭和二十六年法律第百三十八号）第八十五條の二第三項に規定する信用金庫代理業者が行う同条第二項に規定する役務の提供又は同法第八十九條第五項において準用する銀行法第五十二條の四十二第一項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する内閣総理大臣の承認を受けた業務として行うものを除く。）、信用金庫法第八十五條の五第一項に規定する信用金庫電子決済等代行業者（以下この号において単に「信用金庫電子決済等代行業者」という。）が行う同法第八十五條の四第二項に規定する役務の提供、同法第八十五條の十一第六項の規定により信用金庫電子決済等代行業者とみなされる電子決済等代行業者が行う同法第八十五條の四第二項に規定する役務の提供及び同法第八十五條の十二第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同項各号列記以外の部分に規定する役務の提供

十九 内航海運業法（昭和二十七年法律第百五十一号）第七條第一項に規定する内航海運業者が行う同法第二条第二項に規定する役務の提供

二十 長期信用銀行法（昭和二十七年法律第百八十七号）第二条に規定する長期信用銀行が行う同法第六條第一項から第三項まで若しくは第八條に規定する販売若しくは役務の提供又は同法第六條第二項若しくは第三項若しくは第六條の二に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供、同法第六條の五第三項に規定する長期信用銀行代理業者が行う同条第二項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する内閣総理大臣の承認を受けた業務として行うものを除く。）及び長期信用銀行法第十六條の八第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同項各号列記以外の部分に規定する役務の提供

二十一 航空法（昭和二十七年法律第百三十一号）第百二條第一項に規定する本邦航空運送事業者が行う同法第二條第十八項に規定する役務の提供、同法第百二十六條第一項に規定する外国人国際航空運送事業者が行う同法第百二十九條第一項に規定する役務の提供及び同法第百三十條の二の許可を受けた者が行う同条に規定する役務の提供

二十二 労働金庫法（昭和二十八年法律第百二十七号）第八十九條の三第三項に規定する労働金庫代理業者が行う同条第二項に規定する役務の提供又は同法第九十四條第三項において準用する同条第四項の規定により読み替えられた銀行法第五十二條の四十二第一項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する内閣総理大臣及び厚生労働大臣の承認を受けた業務として行うものを除く。）、労働金庫法第八十九條の六第一項に規定する労働金庫電子決済等代行業者（以下この号において単に「労働金庫電子決済等代行業者」という。）が行う同法第八十九條の五第二項に規定する業務の提供、同法第八十九條の十二第六項の規定により労働金庫電子決済等代行業者とみなされる電子決済等代行業者が行う同法第八十九條の五第二項に規定する業務の提供及び同法第八十九條の十三第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同項各号列記以外の部分に規定する役務の提供

二十三 倉庫業法（昭和三十一年法律第百二十一号）第七條第一項に規定する倉庫業者が行う同法第二条第二項に規定する役務の提供

- 二十四 国民年金法（昭和三十四年法律第四百一十一号）第百十五条に規定する国民年金基金が行う同法第百二十八条第一項に規定する役務の提供
- 二十五 割賦販売法（昭和三十六年法律第五百十九号）第三十条第一項に規定する包括信用購入あつせん業者が行う同法第二条第三項に規定する役務の提供及び同法第三十五条の三の二第一項に規定する個別信用購入あつせん業者が行う同法第二条第四項に規定する役務の提供
- 二十六 社会保険労務士が行う社会保険労務士法（昭和四十三年法律第八十九号）第二条第一項又は第二条の二第一項に規定する役務の提供及び同法第二十五条の六に規定する社会保険労務士法人が同法第二十五条の九第一項に規定する業務として行う役務の提供又は同法第二十五条の九の二に規定する役務の提供
- 二十七 積立式宅地建物販売業法（昭和四十六年法律第一百一十一号）第二条第四号に規定する積立式宅地建物販売業者が行う同条第二号に規定する商品の販売又は役務の提供
- 二十八 削除
- 二十九 銀行法第二条第一項に規定する銀行が行う同法第十条第一項若しくは第二項に規定する販売若しくは役務の提供又は同項、同法第十一条若しくは第十二条に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供、同法第十五条に規定する銀行代理業者が行う同条第十四項に規定する役務の提供又は同法第五十二条の四十二第一項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する内閣総理大臣の承認を受けた業務として行うものを除く。）、電子決済等代行業者が行う同法第十七条に規定する役務の提供、同条第二十項に規定する指定紛争解決機関が行う同法第二十四項に規定する役務の提供及び同法第四十七条第二項に規定する外国銀行支店が行う同法第十条第一項若しくは第二項に規定する販売若しくは役務の提供又は同項、同法第十一条若しくは第十二条に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供
- 三十 削除
- 三十一 貸金業法（昭和五十八年法律第三十二号）第二条第二項に規定する貸金業者が行う同条第一項に規定する役務の提供及び同条第十八項に規定する指定紛争解決機関が行う同条第二十二項に規定する役務の提供
- 三十二 電気通信事業法（昭和五十九年法律第八十六号）第二条第五号に規定する電気通信事業者が行う同条第四号に規定する役務の提供
- 三十三 鉄道事業法（昭和六十一年法律第九十二号）第七条第一項に規定する鉄道事業者が同法第二条第一項に規定する事業として行う役務の提供及び同法第三十四条の二第一項に規定する索道事業者が行う同法第二条第五項に規定する役務の提供
- 三十四 貨物利用運送事業法（平成元年法律第八十二号）第七条第一項に規定する第一種貨物利用運送事業者が行う同法第二条第七項に規定する役務の提供及び同法第二十四条第一項に規定する第二種貨物利用運送事業者が行う同法第八項に規定する役務の提供
- 三十五 貨物自動車運送事業法（平成元年法律第八十三号）第七条第一項に規定する一般貨物自動車運送事業者が行う同法第二条第二項に規定する役務の提供及び同法第三十六条第一項に規定する貨物軽自動車運送事業者が行う同法第二条第四項に規定する役務の提供
- 三十六 削除
- 三十七 商品投資に係る事業の規制に関する法律（平成三年法律第六十六号）第二条第四項に規定する商品投資顧問業者が行う同条第三項に規定する役務の提供
- 三十八 不動産特定共同事業法（平成六年法律第七十七号）第二条第五項に規定する不動産特定共同事業者が行う同条第四項に規定する役務の提供及び同条第七項に規定する小規模不動産特定共同事業者が行う同条第六項に規定する役務の提供
- 三十九 保険業法第二条第二項に規定する保険会社が行う同法第九十七条第一項、第九十八条第一項若しくは第九十九条第二項（同法第二条第三項に規定する生命保険会社にあつては、同法第九十八条第一項、第九十九条第二項若しくは第三項）に規定する販売若しくは役務の提供又は同法第九十八条第一項、第九十九条第二項若しくは第三項、第九十九条第一項若しくは第二項若しくは第百条に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供、同法第二十八項に規定する少額短期保険業者が同法第二百七十二条の十一第一項又は第二項に規定する事業又は業務として行う商品の販売又は役務の提供、同法第二十五条に規定する保険仲立人が行う同項に規定する役務の提供、同条第二十八項に規定する指定紛争解決機関が行う同条第四十項に規定する役務の提供、同法第二百四十条第一項の規定により外国保険会社等とみなされる同法第二百九十九条第一項に規定する引受社員（同法第二百二十三条第一項に規定する免許特定法人（以下この号において単に「免許特定法人」という。）の社員である者に限る。以下この号において同じ。）が行う同法第二百九十九条において準用する同法第九十七条第一項、第九十八条第一項若しくは第九十九条第二項（同法第九十九条において準用する同法第九十九条第二項若しくは第三項）に規定する販売若しくは役務の提供又は同法第九十九条において準用する同法第九十八条第一項、第九十九条第一項若しくは第二項若しくは第百条に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供、同法第二十八項に規定する少額短期保険業者が同法第二百七十二条の十一第一項又は第二項に規定する事業又は業務として行う商品の販売又は役務の提供、同法第二十五条に規定する保険仲立人が行う同項に規定する役務の提供、同条第二十八項に規定する指定紛争解決機関が行う同条第四十項に規定する役務の提供、同法第二百四十条第一項の規定により外国保険会社等とみなされる同法第二百九十九条第一項に規定する引受社員（同法第二百二十三条第一項に規定する免許特定法人（以下この号において単に「免許特定法人」という。）の社員である者に限る。以下この号において同じ。）が行う同法第二百九十九条において準用する同法第九十七条第一項、第九十八条第一項若しくは第九十九条第二項（同法第九十九条において準用する同法第九十九条第二項若しくは第三項）に規定する販売若しくは役務の提供又は同法第九十九条において準用する同法第九十八条第一項、第九十九条第一項若しくは第二項若しくは第百条に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供、同法第二十八項に規定する少額短期保険業者の役員又は使用人及び同項に規定する少額短期保険業者の委託を受けた者の役員又は使用人である者を除く。）が行う同法第二十一条第二十六項に規定する役務の提供
- 四十 資産の流動化に関する法律（平成十年法律第五十五号）第二条第三項に規定する特定目的会社が行う同条第二項に規定する特定権利の販売又は役務の提供、同法第二百八条第一項に規定する特定譲渡人が行う同項に規定する役務の提供及び同法第二百二十四条に規定する原委託者が行う同法第二百八十六条第一項に規定する特定権利の販売又は役務の提供
- 四十一 弁理士が行う弁理士法（平成十二年法律第四十九号）第四条、第五条第一項、第六条又は第六条の二第一項に規定する役務の提供及び同法第三十七条第一項に規定する弁理士法人が行う同法第四十条に規定する業務として行う役務の提供又は同法第四十一条に規定する役務の提供
- 四十二 金融サービス仲介業者が行う金融サービスの提供に関する法律第十一条第八項に規定する金融サービス仲介業者に係る役務の提供及び同条第九項に規定する指定紛争解決機関が行う同条第十二項に規定する役務の提供
- 四十三 自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律（平成十三年法律第五十七号）第二条第二項に規定する自動車運転代行業者が行う同条第一項に規定する役務の提供
- 四十四 農林中央金庫法（平成十三年法律第九十三号）第九十五条の二第三項に規定する農林中央金庫代理業者が行う同条第二項に規定する役務の提供又は同法第九十五条の四第一項において準用する同条第二項の規定により読み替えられた銀行法第五十二条の四十二第一項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する主務大臣の承認を受けた業務として行うものを除く。）、農林中央金庫法第九十五条の五の三第一項に規定する農林中央金庫電子決済等代行業者（以下この号において単に「農林中央金庫電子決済等代行業者」という。）が行う同法第九十五条の五の二第二項に規定する役務の提供、同法第九十五条の五の九第六項の規定により農林中央金庫電子決済等代行業者とみなされる電子決済等代行業者が行う同法第九十五条の五の二第二項に規定する役務の提供及び同法第九十五条の六第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同条第二項に規定する役務の提供

- 百条に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供、同法第七項に規定する外国保険会社等（以下この号において単に「外国保険会社等」という。）が行う同法第九十九条において準用する同法第九十七条第一項、第九十八条第一項若しくは第九十九条第二項（同法第九十九条において準用する同法第九十九条第二項若しくは第三項）に規定する販売若しくは役務の提供又は同法第九十九条において準用する同法第九十八条第一項、第九十九条第一項若しくは第二項若しくは第百条に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供、同法第二十八項に規定する少額短期保険業者が同法第二百七十二条の十一第一項又は第二項に規定する事業又は業務として行う商品の販売又は役務の提供、同法第二十五条に規定する保険仲立人が行う同項に規定する役務の提供、同条第二十八項に規定する指定紛争解決機関が行う同条第四十項に規定する役務の提供、同法第二百四十条第一項の規定により外国保険会社等とみなされる同法第二百九十九条第一項に規定する引受社員（同法第二百二十三条第一項に規定する免許特定法人（以下この号において単に「免許特定法人」という。）の社員である者に限る。以下この号において同じ。）が行う同法第二百九十九条において準用する同法第九十七条第一項、第九十八条第一項若しくは第九十九条第二項（同法第九十九条において準用する同法第九十九条第二項若しくは第三項）に規定する販売若しくは役務の提供又は同法第九十九条において準用する同法第九十八条第一項、第九十九条第一項若しくは第二項若しくは第百条に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供、同法第二十八項に規定する少額短期保険業者の役員又は使用人及び同項に規定する少額短期保険業者の委託を受けた者の役員又は使用人である者を除く。）が行う同法第二十一条第二十六項に規定する役務の提供
- 四十 資産の流動化に関する法律（平成十年法律第五十五号）第二条第三項に規定する特定目的会社が行う同条第二項に規定する特定権利の販売又は役務の提供、同法第二百八条第一項に規定する特定譲渡人が行う同項に規定する役務の提供及び同法第二百二十四条に規定する原委託者が行う同法第二百八十六条第一項に規定する特定権利の販売又は役務の提供
- 四十一 弁理士が行う弁理士法（平成十二年法律第四十九号）第四条、第五条第一項、第六条又は第六条の二第一項に規定する役務の提供及び同法第三十七条第一項に規定する弁理士法人が行う同法第四十条に規定する業務として行う役務の提供又は同法第四十一条に規定する役務の提供
- 四十二 金融サービス仲介業者が行う金融サービスの提供に関する法律第十一条第八項に規定する金融サービス仲介業者に係る役務の提供及び同条第九項に規定する指定紛争解決機関が行う同条第十二項に規定する役務の提供
- 四十三 自動車運転代行業の業務の適正化に関する法律（平成十三年法律第五十七号）第二条第二項に規定する自動車運転代行業者が行う同条第一項に規定する役務の提供
- 四十四 農林中央金庫法（平成十三年法律第九十三号）第九十五条の二第三項に規定する農林中央金庫代理業者が行う同条第二項に規定する役務の提供又は同法第九十五条の四第一項において準用する同条第二項の規定により読み替えられた銀行法第五十二条の四十二第一項に規定する業務として行う販売若しくは役務の提供（同項に規定する主務大臣の承認を受けた業務として行うものを除く。）、農林中央金庫法第九十五条の五の三第一項に規定する農林中央金庫電子決済等代行業者（以下この号において単に「農林中央金庫電子決済等代行業者」という。）が行う同法第九十五条の五の二第二項に規定する役務の提供、同法第九十五条の五の九第六項の規定により農林中央金庫電子決済等代行業者とみなされる電子決済等代行業者が行う同法第九十五条の五の二第二項に規定する役務の提供及び同法第九十五条の六第一項第八号に規定する指定紛争解決機関が行う同条第二項に規定する役務の提供

四十五 裁判外紛争解決手続の利用の促進に関する法律（平成十六年法律第五十一号）第二条
第四号に規定する認証紛争解決事業者が行う同条第三号に規定する役務の提供

四十六 信託業法（平成十六年法律第五十四号）第二条第二項に規定する信託会社が行う同条
第一項若しくは第三項に規定する役務の提供又は同法第二十一条第一項若しくは第二項に規定
する事業若しくは業務として行う商品の販売若しくは役務の提供、同法第二条第六項に規定す
る外国信託会社が行う同条第一項若しくは第三項に規定する役務の提供又は同法第六十三条第
二項において準用する同法第二十一条第一項若しくは第二項に規定する事業若しくは業務とし
て行う商品の販売若しくは役務の提供、同法第二条第九項に規定する信託契約代理店が行う同
条第八項に規定する役務の提供及び同条第十項に規定する指定紛争解決機関が行う同条第十四
項に規定する役務の提供

四十七 株式会社商工組合中央金庫が行う株式会社商工組合中央金庫法（平成十九年法律第七十
四号）第二十一条第一項、第三項、第四項若しくは第七項若しくは第三十三条に規定する販売
若しくは役務の提供又は同法第二十一条第一項若しくは第七項に規定する業務として行う販売
若しくは役務の提供、同法第六十条の二第二項に規定する商工組合中央金庫電子決済等代行業
者（以下この号において単に「商工組合中央金庫電子決済等代行業者」という。）が行う同条
第一項に規定する役務の提供及び同法第六十条の三第二項第五項の規定により商工組合中央金庫
電子決済等代行業者とみなされる電子決済等代行業者が行う同法第六十条の二第一項に規定す
る役務の提供

四十八 電子記録債権法（平成十九年法律第二百二号）第二条第二項に規定する電子債権記録機
関が同法第五十七条に規定する事業又は業務として行う役務の提供

四十九 資金決済に関する法律（平成二十一年法律第五十九号）第二条第一項に規定する前払式
支払手段発行者が行う同法第三条第一項に規定する商品（当該前払式支払手段発行者が発行す
るものに限る。）の販売又は役務の提供、同法第二条第三項に規定する資金移動業者が行う同
条第二項に規定する商品の販売又は役務の提供、同条第八項に規定する暗号資産交換業者が行
う同条第七項に規定する商品の販売又は役務の提供及び同条第十三項に規定する指定紛争解決
機関が行う同条第十四項に規定する役務の提供

五十 消費者の財産的被害の集団的な回復のための民事の裁判手続の特例に関する法律（平成二
十五年法律第九十六号）第二条第十号に規定する特定適格消費者団体が同法第六十五条第二項
に規定する業務として行う役務の提供

五十一 住宅宿泊事業法（平成二十九年法律第六十五号）第二条第十項に規定する住宅宿泊仲介
業者が行う同条第八項に規定する役務の提供

別表第三（第六条の四関係）

一 動物及び植物の加工品（一般の飲食の用に供されないものに限る。）であつて、人が摂取す
るもの（医薬品（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（昭和
三十五年法律第四十五号）第二条第一項の医薬品をいう。以下同じ。）を除く。）

二 不織布及び幅が十三センチメートル以上の織物

三 コンドーム及び生理用品

四 防虫剤、殺虫剤、防臭剤及び脱臭剤（医薬品を除く。）

五 化粧品、毛髪用剤及び石けん（医薬品を除く。）、浴用剤、合成洗剤、洗浄剤、つや出し剤、
ワックス、靴クリーム並びに歯ブラシ

六 履物

七 壁紙

八 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第三十一条に規定する
配置販売業者が配置した医薬品（薬事法の一部を改正する法律（平成十八年法律第六十九号）
附則第十条に規定する既存配置販売業者が配置したものを含む。）

別表第四（第十一条、第十二条、第十五条、第十六条関係）

特定継続的役務

一人の皮膚を清潔にし若しくは美化し、体型を整え、又
は体重を減ずるための施術を行うこと（二の項に掲げるも
のを除く。）

二人の皮膚を清潔にし若しくは美化し、体型を整え、体
重を減じ、又は歯牙を漂白するための医学的処置、手術及月
びその他の治療を行うこと（美容を目的とするものであつ
て、主務省令で定める方法によるものに限る。）

語学の教授（学校教育法（昭和二十二年法律第二十六
号）第一条に規定する学校、同法第二百二十四条に規定する月
専修学校若しくは同法第三百三十四条第一項に規定する各種
学校の入学者を選抜するための学力試験に備えるため又は
同法第一条に規定する学校（大学を除く。）における教育の
補習のための学力の教授に該当するものを除く。）

学校教育法第一条に規定する学校（幼稚園及び小学校
を除く。）、同法第二百二十四条に規定する専修学校若しくは月
同法第三百三十四条第一項に規定する各種学校の入学者を選
抜するための学力試験（義務教育学校にあつては、後期課
程に係るものに限る。五の項において「入学試験」という
。）に備えるため又は学校教育（同法第一条に規定する学校
（幼稚園及び大学を除く。）における教育をいう。同項にお
いて同じ。）の補習のための学力の教授（同項に規定する場
所以外の場所において提供されるものに限る。）

入学試験に備えるため又は学校教育の補習のための学
校教育法第一条に規定する学校（幼稚園及び大学を除く。）月
の児童、生徒又は学生を対象とした学力の教授（役務提供
事業者の事業所その他の役務提供事業者が当該役務提供の
ために用意する場所において提供されるものに限る。）

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

契約の解除によつて通常生ずる損害の額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

二万五千円又は当該特定継続的役
務提供契約に係る特定継続的
役務の対価の総額から提供さ
れた特定継続的役務の対価に
相当する額を控除した額（以
下この表において「契約残
額」という。）の百分の十に
相当する額のいずれか低い額

六 電子計算機又はワードプロセッサの操作に関する知識又は技術の教授	月	五万円又は契約残額の百分の二十に相当する額のいずれか低い額	円	五万
七 結婚を希望する者への異性の紹介	月	二万円又は契約残額の百分の二十に相当する額のいずれか低い額	円	三万

別表第五(第十四条関係)

- 一 別表第四の一の項に掲げる特定継続的役務にあつては、次に掲げる商品
- イ 動物及び植物の加工品(一般の飲食の用に供されないものに限る。)であつて、人が摂取するもの(医薬品を除く。)
- ロ 化粧品、石けん(医薬品を除く。)及び浴用剤
- ハ 下着
- ニ 電気による刺激又は電磁波若しくは超音波を用いて人の皮膚を清潔にし又は美化する器具又は装置
- 二 別表第四の二の項に掲げる特定継続的役務にあつては、次に掲げる商品
- イ 動物及び植物の加工品(一般の飲食の用に供されないものに限る。)であつて、人が摂取するもの
- ロ 化粧品
- ハ マウスピース(歯牙の漂白のために用いられるものに限る。)及び歯牙の漂白剤
- ニ 医薬品及び医薬部外品(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第二項の医薬部外品をいう。)であつて、美容を目的とするもの
- 三 別表第四の三の項から五の項までに掲げる特定継続的役務にあつては、次に掲げる商品
- イ 書籍
- ロ 電子的方法、磁気的方法その他の人の知覚によつて認識することができない方法により音、影像又はプログラムを記録した物
- ハ ファクシミリ装置及びテレビ電話装置
- 四 別表第四の六の項に掲げる特定継続的役務にあつては、次に掲げる商品
- イ 電子計算機及びワードプロセッサ並びにこれらの部品及び附属品
- ロ 書籍
- ハ 電子的方法、磁気的方法その他の人の知覚によつて認識することができない方法により音、映像又はプログラムを記録した物
- 五 別表第四の七の項に掲げる特定継続的役務にあつては、次に掲げる商品
- イ 真珠並びに貴石及び半貴石
- ロ 指輪その他の装身具